

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	瑞浪市立明世小学校		
実 施 期 間	平成25年11月10日(日)		
実 施 概 要	①授業参観 ②親子ふれあいもちつき大会		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	約120人	計 約129人
	地域関係者	9人	
実 施 状 況	<ul style="list-style-type: none">・PTA母親委員、PTA本部役員と地域の協力者は当日8時に集合し、親子ふれあいもちつき大会の準備にあたる。(一週間前には関係者で予行練習をし、前日の土曜日には、PTA本部役員、PTA母親委員と地域の協力者は学校に集まり準備にあたった。)・1時間目に授業参観を実施。地域の関係者(学校評議員、区長等)にも案内を出し、当日は9名の方々がみえた。・授業参観後、全保護者(家族の方々も含む)と児童は体育館に集まり、親子ふれあいもちつき大会を実施した。もちつきは昨年度から復活し、好評となった。児童にとっては新鮮であり、なかなかできない体験ができた。また、PTA母親委員が作った豚汁をいただいたりしながら、親子や保護者同士の交流を深めた。会の始まりは、PTA会長や校長の挨拶から始まり、もちつきのデモンストレーションを示し、終わりには児童代表のお礼の言葉もあった。もちを丸めて、きなこやあんをつける作業は親子で行い、ここでも親子のふれあいを深めることができた。(食中毒予防には、できる限りのことを行った。)・親子ふれあいもちつき大会の後、児童は教室にもどり短学活を行い、その中で親子ふれあい昼食会の感想を書いた。(後日PTA母親委員が発行している広報誌「そらまめ」にその感想文が紹介される予定である。)		
成 果 及 び 課 題	<ul style="list-style-type: none">○一緒に調理する中で、親子でふれあう時間が十分に確保され親子のふれあい(交流)が深まった。児童の楽しそうな顔がたいへん多くみられた。もちも豚汁もたいへんおいしく、たくさんのおかわりがあった。○全保護者が集まり、地区毎にかたまってもちつきを行ったので保護者同士の会話もはずみ、交流が深まった。○予行練習・前日の準備をとおして、PTA役員と協力者同士の絆が強まった。○学校評議員さんに、授業とは違う児童の姿や保護者の姿をみていただく機会となった。・待ち時間があり、「その時間の有効活用を」といった声もあったが、今年の実験を生かして解決できると考える。		